

TOKYO 会報

No. 12

2017(平成29)年9月20日発行

大妻同窓会東京

発行責任者 山田 恵理(代表)

TOKYO会報No.12によせて

大妻同窓会東京代表 山田 恵理

今年の夏は昨年より過ごしやすかったので早い秋の訪れを期待しておりましたが、もうしばらく待つ必要があるようです。

7月末に同窓会東京の集まりとして、昭和館での特別企画展に出かけました。大妻コタカ先生と大橋鎮子氏の生涯を当時の社会情勢とあわせて紹介する展示でした。会場には70代後半とみられるご夫婦がいらして、「恥を知れ」という校訓についてあれやこれやと話しておりました。正直なところ学生時代には、校章の裏に記してあるなというくらいの認識しかありませんでしたが、最近、これはとても大事なことであると感じることが間々ございます。コタカ先生が「これは決して他者に向かうものではなく、あくまでも自分に向かって言うことです。人に見られたり、聞かれて恥ずかしいことをしたかどうかと自分を戒めることなのです」とおっしゃっています。

今年度後半には大妻学院千代田キャンパスの一番新しい校舎を見学する予定です。発展を続ける母校を是非、ご覧ください。これからもご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ベジフルフラワー講習会

平成28年度、29年度の大妻コタカ記念会事業「地方における講習会」として、同窓会東京の企画により「ベジフルフラワー講習会」が実施されました。本学院の卒業生である荒川昭子氏を講師にお迎えし、記念会会員、同窓会東京会員だけでなくご家族ご友人、また近隣にお住まいの方にも広く開かれた講習会として多くの皆様に参加してくださいました。見て楽しく食べて美味しい、野菜の魅力を再発見したと好評でした。

講師紹介

荒川 昭子氏
大妻女子大学家政学部被服学科卒業
日本野菜ソムリエ協会認定
ベジフルフラワーアーティストプロフェッサー
草月流師範
健康管理士一般指導員
食育指導士

栃木県宇都宮市在住。アンジュール・アキを主宰し、ご自身で育てた野菜・果物を使い色鮮やかなブーケやオブジェを制作、また食育を交えた講習会を開くなどの活動をされています。栃木県初のベジフルフラワーアーティストとしてNHK栃木や地域のイベントにおいてもご活躍中です。

(写真次頁)

ベジフルフラワー講習会に参加して

上田 香十里 (短期大学部英文科H3卒)

平成28年10月29日(土)、大妻コタカ記念会館にて開催された「ベジフルフラワー講習会」に参加しました。講師は大妻女子大学被服学科ご卒業の荒川昭子先生です。会場に入ると、大きくて素敵なおブーケが飾られており、このような芸術作品が野菜で出来るのかと心が躍りました。作品作りの前に荒川先生からの講義があり、どの野菜がベジフルフラワーに向いているのか、野菜の上手な保存の仕方などを教えていただきました。そして、いよいよ作品作りです。目の前に置かれた野菜は、どれも綺麗なものでそのまま食べてしまいたいくらいでした。ラディッシュやミニ大根、フルーツ人参などは根と葉がついたままの状態でも美しく、手に取るだけでわくわくしました。金時草やツルムラサキなどがブーケの葉の役目をし、見た目も鮮やかな野菜のブーケが完成しました。まさかこれが全て食べられるとは！完成した作品は持ち帰り、美味しくいただきました。家族にも大変好評でした。より野菜が身近になった講習会でした。ありがとうございました。

参加者へのアンケートより

平成29年5月27日(土)、2回目の講習会を開催。参加17名のうち6割が前回に続いての参加でした。珍しい野菜に触れ、自然の香りを感じ、色々な調理法を知り、とても楽しかった、次回を楽しみにしていますという声を多くいただきました。

平成28年度後期・29年度前期事業報告

ご参加、ご協力ありがとうございました。

① 公開講習会コーラス講習会 Vol.6

「日本と世界の名曲を歌いましょう」

TOKYO会報編集部

平成28年6月26日(日)13時半～15時、千代田校舎C棟の児童学科音楽表現練習室にて毎年開催している「コーラス講習会」が行われ、講師の山口美恵子氏のもと15名の皆さんでリクエスト曲を合唱しました。

あすという日が(八木澤教司)、浜千鳥(弘田龍太郎)、翼をください(村井邦彦)、命の名前(久石譲)、カントリーロード(ジョン・デンバー)、花(滝廉太郎)

② 第13回私のTOKYO

「普茶料理と下町散策」

緒方 玲子(文学部英文学科S52卒)

平成28年12月4日、天気は晴れて暖かい日でした。10名の大妻の同窓生が台東区入谷にあります普茶料理・梵(ぼん)に集まりました。日本家屋の佇まい。ビルやマンションが立ち並ぶ街中で、ふと昔へタイムスリップしたかのような入口。そしてお店の中も心穏やかになる日本様式。それだけではありません。通されたお部屋には床の間、そしてガラス窓越しに見える中庭があり、お食事が出る前にもうすでに感動しておりました。普茶料理は約300年前、中国明の隠元禅師が、京都宇治に萬福寺を建立した折より伝わる精進料理と云うことで、どんなものかと期待しておりました。出されるお料理のあまりの美しさとお味に皆様お料理が出て説明を聞く度に感嘆の声を上げておりました。すべてのお料理をご紹介したい程ですが、特に感動しましたのが、天麩羅です。素麺を扇の様に揚げ(神業です)、人参をまるで海老と間違えてしまう様に揚げ、蓮根はシャキシャキと。又、吉野葛を使い余すことなく頂く知恵。お味も美味。「美しい」の言葉だけでは言い表すことが出来ない程に感動しました。お食事の後は樋口一葉記念館を訪れ、ボランティアの方に詳しくご説明頂きました。大変充実した一日を過ごすことが出来ましたこと感謝しております。

③ 第15回東京の集い

「ランチを美術館で～東洋文庫」

小倉 智子(文学部国文学科S59卒)

2月26日(日)東洋文庫ミュージアムにて早春の一日を楽しみました。大正13年に三菱第三代当主・岩崎久彌が設立した東洋文庫。国宝5点を含む100万冊を所蔵する東洋学の研究図書館。少々難解なイメージで出掛けましたが、モダンで開放的なエントランスホー



綺麗な野菜たち



見本作品



それぞれの個性



あふれる作品



講師 荒川昭子氏



ねぎ・オカヒジキ・ピーツなど

ルに着いてひと安心。35種類の言語で書かれた「ようこそ」の文字が迎えてくれました。見学前に併設の「オリエントカフェ」でランチをいただきました。お目当ては文庫ランチ・マリーアントワネット。



ねぎとごぼうでバランスよく

ミュージアム館内は部屋ごとに趣向が凝らされ、解説文もわかりやすいものでした。デジタル技術とアニメ映像で演出された「解体新書」の展示は大変驚きましたし、特にモリソン書庫では膨大な書物に息をのみ、めまいすら覚えましたが不思議なことに時間が経つうち心地良い安心感に包まれました。積み重ねられた時間、保存修復の努力、情熱からなる包容力でしょうか。特別展示「ロマノフ王朝展」も開催されておりました。季節に合わせた岩崎家のお雛様も飾られており、なんともゆかしいことでした。中庭シーボルト・ガルテンには、シーボルトが紹介した江戸時代の紫陽花が植えられているそうです。紫陽花の咲く頃、また訪れてみようと思います。

④ 平成29年度大妻同窓会東京総会

山田 恵理 (家政学部児童学科S60卒)

平成29年6月4日(日)9時30分～10時00分、ホテルニューオータニ舞の間にて総会が開催されました。代表挨拶、平成28年度事業報告、収支決算報告、監査報告、平成29年度事業計画、収支予算について各担当委員より報告があり、各項目について滞りなく了承を得、閉会となりました。



平成29年度総会



皆揃って

⑤ 公開講習会「コーラス講習会Vol.7」

島田 正江 (家政学部児童学科S59卒)

6月25日(土)、13時半よりコーラス講習会に参加しました。

半蔵門駅から通い慣れた通学路を昔のように歩きました。街並みも大妻の校舎群もすっかり変わり、浦島太郎になった気持ちで最新のビルの校舎を眺めながら会場の校舎に入りました。準備された案内板に導かれ音楽室に入りますと、雨天にもかかわらず様々な年代の方々や男性の参加者も加わり12名にて、思いもよらぬ混声合唱を味わうレッスンとなりました。

発声練習後、前回のリクエスト曲を次々に合唱し、レッスン後はご用意いただいたお茶とお菓子で和やかな懇親会を楽しむという流れの講座でした。コーラスはピアノの伴奏に合わせて譜面を見ながら声を出し、皆とハーモニーを作り上げていくもの。殊に混声合唱は声が溶け合って響きあう心地よい味わいがあり眠っていた五感を呼び覚ましてくれました。よく知っていた曲も改めて歌詞を味わいながら歌うと心がほっこり温かくなりました。何とも楽しいひと時でした。コーラスの講座が年に一度の公開講座ではなく「通年の講習となればよいのに」と願ったのは私だけではないと存じます(脳トレにも最適です)。本当に楽しい講習でした。同窓会と役員の方々、そして講師の先生のおかげと心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



コーラス講習会 Vol. 6



また次回♪



第15回東京の集い



モリソン書庫



第13回 私のTOKYO



オリентカフェにて



岩崎家の雛人形



普茶料理のお弁当



コーラス講習会 Vol.7



講師 山口美恵子氏



お茶とお菓子で

交 点

昭和館 特別企画展「昭和を生き抜いた女性たち： 大妻コタカと大橋鎮子らが生きた時代」 見学レポート

九段下駅、武道館に向かう出口4番から地上に出るとすぐ目の前に国立の施設、昭和館がごさいます。その特別企画展の中で、戦後、困難に耐え社会進出を果たした女性として大妻コタカ先生の生涯が紹介されました。期間は7月22日～9月10日、丁度オープンキャンパスと重



昭和館入口



コタカ先生を囲んで

なり、その足で訪れる親子連れも多かったようです。会場では戦前、戦中、戦後、社会における女性の位置付けをポスターや写真、新聞や雑誌の記事などを用いてわかりやすく展示していました。戦争により不足した労働力を補うため必然的に女性の力が求められ、進学率も上がり戦後復興を支える女性の活躍も目立ってくる。そんな時代背景の中、大妻学院も発展し、雑誌の対談で同時代に活躍した女性達と交流するコタカ先生の姿もみられました。関東大震災、東京大空襲による校舎の焼失、教職追放などドラマのような数々の困難に立ち向かった生涯を、昭和の時代の流れとともに立体的に窺い知ることができました。

第7期(平成29・30年度)

大妻同窓会東京役員

運営委員 ◎山田 恵理 ○阿部 栄子 ○植野 一恵
太田 妙子 大野美恵子 小倉 智子
高木 和子 津田 厚子 内藤 まり
中澤 範子 長岡 博子 村井 容子
山口美恵子

(◎代表 ○副代表)

監 事 金谷 喜子 呑山委佐子

◆編集後記◆

「恥を知れ」という言葉、数カ月前にはニュース映像で頻繁に流れていたようですが、自分の胸の内にしまっておくくらいがよろしいのでしょうか。

(EY)